

議員定数等検討委員会報告書提出

議員定数等検討委員会は、平成 27 年 11 月に予定されている市議会議員選挙における議員定数、それに伴う議員報酬や政務活動費のあり方について検討するため設置されたものであり、これまでに 6 回委員会を開催し、この度、当委員会の調査が終了し議長へ報告書が提出されましたので、その結果について報告いたします。

まず、議員定数については、定数削減は、地域における少数意見を排除することになりかねず、また、行政への民意の反映が不十分となり、議会制民主主義の原理に支障をきたす恐れもある。住民の多様な利害や、意思をなるべく正確に反映するためにも、地域から一定数の議員の確保は必要である等の理由から、定数は、現状維持の 26 人としました。

次に、議員報酬については、若い世代や様々な分野から議員が出てくること、望ましく、議員活動により生活が保障される議員報酬であることは今後十分な検討の余地があるが、議員定数を削減した上で見直すべきであるとの意見が多く、議員定数を現状維持と決定した以上、議員報酬の見直しは時期尚早であるとの意見が大半であることから、議員報酬は現状維持としました。

最後に、政務活動費については、本市議会自ら平成 21 年 9 月に廃止と決定したものであることから重く受け止める必要があるが、多くの議員が政務活動費の復活を望む声があることも事実であります。本報告では政務活動費は復活しないこととしましたが、今後、議会基本条例の実践と議会活性化の推進を図る中で、議員報酬とともに引き続き検討することとしました。

市営林視察



昨年 11 月 14 日に市営林（大田原市が経営する山林）の現地調査を行いました。

黒羽地区の山林を中心に 4 力所ほど視察し、伐採期を迎えた樹木や、山林の管理状況などについて、農林整備課職員の説明を受けながら調査を行いました。

樹種はヒノキやスギがほとんどであり、樹齢 50 年のものが大半でありました。

認知症サポーター養成講座を開催



昨年 11 月 17 日に認知症サポーター養成講座を開催しました。

認知症サポーターとは認知症について正しく理解し、地域で認知症の方とその家族を見守る応援者のこととあります。

本講座において認知症の基礎知識、認知症の方への対応、認知症サポーターの役割などについて理解を深めることができました。

平成 27 年 3 月定例会 開催のお知らせ

会期(予定) 3月9日(月)～3月23日(月)



市議会HPは
http://city.oowara.lg.jp



※ 一般質問内容など詳細につきましては後日、議会ホームページで公開いたします。